

当社研究開発センターにおける「JOMO自然観察教室」の実施について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、CSR活動の一環として、去る2月15日、埼玉県戸田市にある当社の研究開発センター(精製技術センター、潤滑油開発センター、バイオ研究センターおよび戸田管理センターで構成)において、地元の戸田市立新曽小学校(所在地:埼玉県戸田市新曽南二丁目、校長:西田康子、以下「新曽小」)4年生の児童を対象とした「JOMO自然観察教室」を実施いたしました。
2. 「JOMO自然観察教室」は、新曽小4年生の理科の授業に「身近な樹木観察」というテーマがあることから、当センター構内(約5万m²)の自然(80種類 1,250本の樹木)を同授業に役立てていただくことを目的として2007年度から年4回程度の頻度で行っているもので、今回が4回目となります。
3. 当日は、児童が1年間観察することを決めた樹木の冬芽の様子などをスケッチしたほか、年間を通じた観察でわかった四季による樹木の変化について調べたことを発表しました。また、構内に訪れる野鳥(メジロ、ハクセキレイ、ツグミ等)の観察も行い、自然に触れる機会を得ました。
4. 「JOMO自然観察教室」の概要は次のとおりです。
 - (1)開催日時:2008年2月15日(金)9:55~12:10
 - (2)場所:研究開発センター(埼玉県戸田市新曽南三丁目)
 - (3)参加児童:117名
 - (4)内容:樹木の観察・スケッチ、1年間の観察記録の発表、野鳥観察等
5. 当社は、各事業所における地域貢献活動にも取り組んでおり、自然観察教室のほか、理科教室や製油所見学会など、地域からの開催要望に積極的に対応しております。

以上

● 【参考資料】「JOMO 自然観察教室」の様子

